愛知県被災者支援センターニュース 第23号 平成24年7月25日発行

あおぞら

発行 ： 愛知県被災者支援センター
住所 ： 名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1階
TEL ： 052-954-6722
FAX ： 052-954-6993
開館 ： 月～金 10～17時

避難をされていらっしゃる皆様で、「お子さんの健康が心配」という方は多いと思います。アレルギー問題はその中でも少数の方かもしれませんが、命に関わる深刻な事態につながることがあります。

愛知県被災者支援センターでも、交流会では昼食やお茶菓子などが出されるのが常ですが、アレルギーに対応した食べ物も必要に応じて用意しています。申込み時に言っていただければ極力対応しますので、該当される方は、遠慮なくお申し出ください。

アレルギーのある方もそうでない方も、どなたもが安心して生活できる社会作りに貢献したいと思い、今回、「認定特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク」に記事を書いていただきました。

いつでもご相談ください!! NPO法人アレルギー支援ネットワークです

私たちアレルギー支援ネットワーク（以下、「支援ネット」）は、「アレルギー」に取り組むNPO団体で、アレルギー専門医と食物・住まいなどの専門家や企業・自治体、「アレルギーの（親の）会」とネットワークを結び、アレルギー問題の解決のために様々な活動を行なっています。その事業の一環として、「アレルギーっ子の防災対策」や「患者家族の方や患者会活動へのサポート、地域の患者会づくり」に取り組んでいます。

愛知県内に避難をされてきた皆さまの中に「アレルギー」でお困りの方はいらっしゃいませんか？

アレルギー支援ネットワークは、東日本大震災における「アレルギー患者の方」のご支援をさせていただいています。

見知らぬ地域、愛知県に来られたアレルギー疾患をお持ちの患者・家族の方は「スーパーなどでは買えないアレルギー対応の食品などをどこで手に入れたらいいの？」、「食物アレルギーの治療で信頼できるお医者さんはどこにあるの？」、「保育園や小学校の対応でうまく話し合えなくて悩んでいる」などたくさんの困りごとがあると思います。

アトピー性皮膚炎の患者の方やぜん息患者の方も、新しく住みはじめた住まいの環境などによって発作が起きてお困りの方もおみえになると思います。

支援ネットは、こうした方々へのご支援もしています。アレルギーでお困りの方がいらっしゃいましたら、どのようなお悩みやご相談にも応じています（無料）。

ぜひご遠慮なさらず、ご連絡をお待ちしています。

TEL ： 052-485-5208
E-mail ： info@alle-net.com

アレルギーはわがままではありません

東日本大震災で被災されお困りだったアレルギー患者の方のサポートをさせていただくなかで気付いたことがあります。

被災された方が集団生活をする避難所では、特別な配慮を求めることが「わがまま」と映るのではないかとアレルギー患者の方々は心配し、声を上げにくい状況でした。アレルゲンが含まれる食料しかなく、食べて症状が出てしまったという事例や「ごはんと米パンしか食べてない」、「おにぎりを求めて避難所を回った」という事例もありました。また、「ぜん息の発作で咳がとまらず避難所では迷惑になるため傾いた自宅に戻った」という事例もありました。アレルギー疾患は「わがまま」ではないことを周りの方に理解していただくことが大切です。

（2ページへ続く）

災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット

日本小児アレルギー学会が、専門医と NPO 団体やアレルギー患者親の会と共に作成しました。

主に、避難所や、ライフラインがまだ完全に復旧していないような場所、慣れない場所に疎開しているお子さまとその保護者のためにご利用いただけるように作成されています。「食物アレルギー」「アトピー性皮膚炎」「ぜんそく」の疾患毎に保護者、周囲の方、行政の方に配慮してほしいこととしてまとめられているため、パンフレットとして使用することもできますし、必要な所だけ印刷してご利用頂くことも可能です。

学会の HP よりダウンロードできます。

http://www.jspaci.jp/modules/gcontents/index.php?content_id=4

（レイアウト上、2行になっていますが､実際は 1行です）

もし、インターネットができる環境の無い方がいらっしゃいましたら、支援ネットまでお問い合わせください。

お気軽にご参加ください

愛知県内には､「アレルギー児をもつ親の会」が、24 団体あります。

それぞれの地域で、月に 1 回程度集まり、親子同士の交流・情報交換や勉強会、防災対策などをおこなっています。子育て、園や学校、お買い物など地域の情報交換をしています。何より、アレルギー疾患をもつお子さんを育てているという共通の立場でお話ができると思います。

患者家族のかたであればどなたでもご参加できます｡患者会に参加をご希望される方は､支援ネットまでお問い合わせください。

TEL ： 052-485-5208

E-mail ： info@alle-net.com

名古屋市	アレルギー児の親の交流会(支援ネット事務所・中村区)、みちの会(診療所内の患者会)、緑アレルギーの会(緑区)、名古屋南部アレルギーの会(南区港区など南部地区)、守山アレルギーの会(守山区)、天白アレルギーの会(天白区)、名東アレルギーの会(名東区)
春日井市	春日井アレルギーの会
岡崎市	岡崎アレルギーの会
豊田市	豊田アレルギー児ママの会
稲沢市	稲沢アレルギーの会
海部郡蟹江町	アレルギーっ子あつまぁれ会
北名古屋市	アレルギーっ子まりもの会
小牧市	アレルギーっ子のつどい・クリスマスローズ
豊川市	アレルギーっ子の会
常滑市	とこなめあれっこママ
一宮市	サークルくれよん
知立市	知立食物アレルギーの会「あいあい」
安城市	てるてるぼうず
日進市	日進・アレルギー児の親子の交流会
刈谷市	刈谷アレルギー児の親の交流会
西尾市	西尾アレルギーの会・アレっ子元気
豊橋市	豊橋アレルギーっ子の会
あま市	あまアレルギーの会

アレルギーっ子の防災ネットワークシステム「安否確認システム」に登録をしませんか？

支援ネットでは、必ず来るといわれる大災害に備えて「アレルギーっ子の防災ネットワークシステム」づくりに取り組んでいます。この中の「安否確認システム」は、アレルギーを持つ人がご自分のアレルゲンや治療内容をあらかじめ登録しておくもので、発災時には安否確認の（携帯）メールを一斉配信して、必要な支援を迅速に届けることを目指しています。

登録者には、「防災セット」（番号入りシリコンバンド＋緊急時のお願いカード）を提供していますが、これは、親と離れ離れになり子どもだけが取り残された場合に備えて、周囲の人がアレルギー情報を理解していただくために、お子さんに携帯をしていただくものです。いざという時、あわてないよう今から登録をしておきましょう。

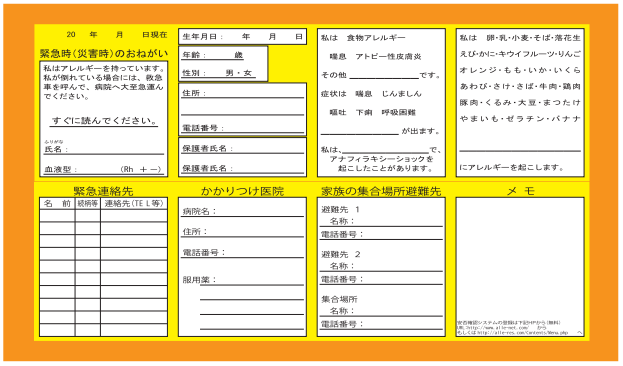
登録はこちらから

http://alle-res.com/Contents/Menu.php

安否確認システム・登録バンド・緊急連絡カードで命を守る！

アレルギーっ子の緊急時防災対策

＜ データ登録シリコンバンド ＞



＜ 緊急時おねがいカード ＞

アレルギーっ子の防災セット

情報を身につけよう！

データ登録シリコンバンド

このシリコンバンドには安否確認システムにリンクする登録番号が印字されており、バンドを身に着けている事で、緊急事態でも事前に登録された患者情報から迅速に救援の手配をすることができます。

緊急時おねがいカード

周囲の人にアレルギー症状や除去食品、連絡先や主治医などを知らせるための携帯用カードです。非常時にはもちろんのこと、平常時にも周囲に正確な情報提供をするために役立つカードです。

緊急時安否確認システム

情報を登録しよう！

アレルギー支援ネットワークのHPから安否確認データバンクに登録することで、災害発生などの緊急時に安否確認メールが届き、全国各地のネットワークを利用して迅速に支援することができます。登録は食物アレルギーやぜん息、アトピー性皮膚炎などの患者本人や保護者が登録料・サービス料不要で行えます。

認定ＮＰＯ法人(認定特定非営利活動法人)
アレルギー支援ネットワーク

- 災害支援経験豊富な専門スタッフ
- 全国各地の患者会と協力
- 医療機関・行政・企業と災害時支援提携により、アレルギーっ子を援助します。

1988年ダニ対策市民懇談会としてスタ--トし、2006年にNPO法人格取得。講座や交流会の開催行政・企業と共同研究、医療機関と連携などアレルギ--問題解決を多角的にアプロ--チ。
また、東海・東南海地震に備えて自主防災活動を行い、災害支援に積極的に取り組む。

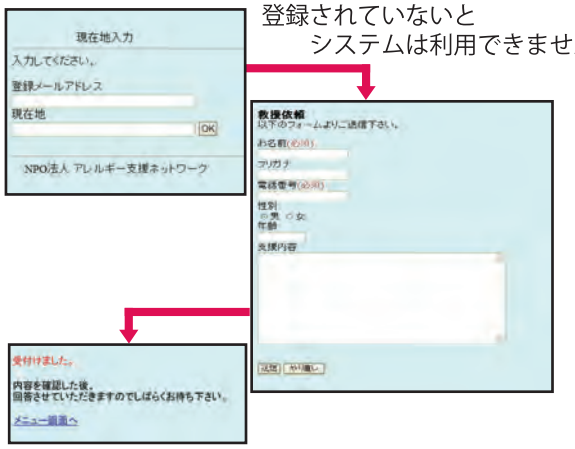
この事業は、”積水ハウスマッチングプログラム”の助成を受けて実施しています。

アレルギーっ子の防災ネットワーク

http://alle-sien.sakura.ne.jp/Contents/Menu.php

携帯電話での登録時、「暗号化通信の認証」が取れない機種があります。その時は、お手数ですが「フルブラウザ」「PCサイトブラウザ」「PCサイトビュア」などで閲覧してください！

参考：救援依頼の手順



登録されていないとシステムは利用できません。

※ 現在、シリコンバンドの番号で簡単に連絡できるようにシステム改修中のため、入力画面・操作が変わる場合があります。

防災ネットワーク

アレルギーっ子の防災セットお申込について

- 料金：アレルギー患者１人につき１セット無料(登録料・管理サービス料・送料など全て不要です)
  - ・食物アレルギー、喘息やアトピー性皮膚炎などの患者本人または保護者の方が対象です。
  - ・本サービスは公益事業として助成金で制作費などを補っているため、無償サービスは先着１万名様で、有償になる場合は事前にHPで別途ご案内いたします。
- セット内容：安否確認システム登録＆登録番号印字シリコンバンド＆緊急連絡カード３枚
- 申込方法と流れ：

①まずは、システム登録！
アレルギー支援ネットワークのホームページ(http://alle-net.com)から安否確認システムに登録をする！ ※左下の方にあります！

②アレルギー支援ネットワークに登録情報が届く！

③登録番号の決定。
※番号の指定は出来ませんので予めご了承下さい。

④ 登録番号の入ったシリコンバンドと緊急連絡カードがお手元に届く！
※登録から発送まで、１～２週間ほど要する予定です。

- その他：
  - ・予備（追加番号）シリコンバンドは１個２５０円、緊急連絡カードは１枚２５円で追加で購入が可能です。（防災セットの初回お申込み時は送料無料・振り込み手数料はご負担願います。）
  - ・非常用備蓄として、アレルギー対応のアルファ化米を初回セット特別価格３袋１０００円（税・送料含む）でご購入出来ます。東日本大震災で被災された方には無償支援もいたします。
  - ・登録情報確認と緊急時の動作確認のため不定期にアレルギーに関しての情報メールが配信されます（月１回程度）。不要な方は配信メールから配信中止が可能です。

≪お問い合わせ：認定ＮＰＯ法人　アレルギー支援ネットワーク≫

〒453-0042　名古屋市中村区大秋町 2-45- 6

TEL:052-485-5208　FAX:03-6893-5801　Email: alle-band@alle-res com

学習会「チェルノブイリから今を考える」ご報告

日　程 ： 2012 年 6 月 4 日（水）14:00 ～ 15:30
場　所 ： 南医療生協
主　催 ： 愛知県被災者支援センター パーソナルサポート支援チーム
参加者 ： 104 名（募集席は 100 名）
避難者 24 名、一般 80 名。会場は隅々まで参加者で溢れました。

福島第一原発事故の影響は、長く続きます。

1986 年にソ連チェルノブイリで起きた、原発事故から学ぶことが多いと思われます。1990 年からチェルノブイリの支援を続けてきた、「特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援・中部」理事の河田さんからお話をお聞きして、福島との比較をしながら、今私たちが考えるべきこと、なすべきことを共に考えていくための学習会を行ないました。

「～学習会～チェルノブイリから今を考える」に参加して

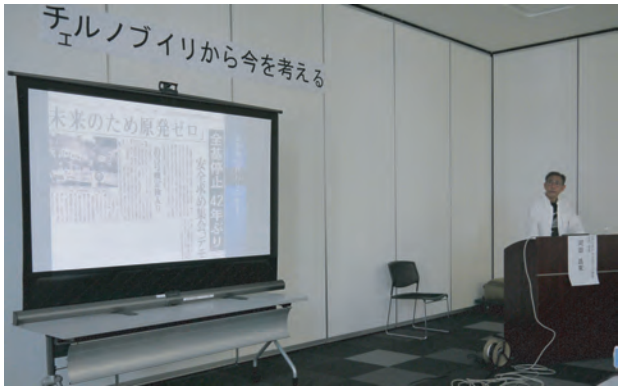
分子生物学者の河田昌東先生の学習会に参加しました。放射線の身体への影響というと、がんの発症と結び付けられることが多いが、実は心臓病、糖尿病、脳血管疾患、心疾患などの生活習慣病の罹患率が高くなる傾向があり、健康診断、特に心電図の定期的な検査は有効であったことなど、長年にわたってチェルノブイリの救援に献身的に携わってこられた河田先生の、貴重な調査結果に基づくお話でした。

除染をはじめ、震災からの復興には気が遠くなるような膨大な時間と労力が必要で、私たち日本の国民は、この先何十年もの長きにわたって、子や孫にも引き継ぎながら復興支援を続けならない事態であることを改めて考えさせられました。既に先生が、ボランティアの方々と南相馬市での放射能の定点計測を年 2 回続け、現地の除染と市民の健康調査のもとになるデーターを、地図の上に落とし込む活動を続けておられるということも紹介されましたが、チェルノブイリでの 25 年以上にも渡る研究調査結果をもとに、多くの市民が一緒に学習し、復興のあり方から考えていく必要性を感じます。

私たちも医療生協として、被災者の方々の健康や生活面での相談など、支援を続けていきたいと思います。

今回この企画の中で、愛知県の飛島村が、愛知に避難している被災者を少しでも支援したい、5,000 人以上の命を奪い甚大な被害をもたらした、53 年前の伊勢湾台風での全国からの救援へのお返しをしたい、との思いから飛島村産のお米を愛知県被災者支援センターを通じて送られた、とのエピソードを聞きました。南医療生協も伊勢湾台風の時の全国からの救援の後、市民の手による協同組合の医療機関として設立されましたが、私自身経験していません。飛島村のお米の話から伊勢湾台風や当時の支援について、逆に思い起こすことになりました。市民一人ひとりが震災の経験を自分の問題として考え、息長く取り組み、後世に受け継いでいく、そのためにも世代を越えての心の通い合いが大切であることも、今回学びました。ありがとうございました。

（南医療生活協同組合　室生 厚）



「～学習会～チェルノブイリから今を考える」に参加して

７月 ４日（水）に開催された学習会は、大変有意義な機会となりました。

実際、私のように震災後、原発事故からの避難をした者にとっては、学習会の内容の大半がすでに十分理解している情報ではありました。一番興味深かったのはやはり、チェルノブイリ原発事故後、現地を支援し続けている「特定非営利活動法人　チェルノブイリ救援・中部」の理事が、ご自身達の経験を踏まえ、福島との比較をしながらのお話をされたことです。

現在、このような原発・放射能についての学習会や講演会はどんどん増えていて、多方面の専門家らが全国で行っています。しかし、国の決めた高い安全基準を鵜呑みにした内容や、一般人が取り入れるには大変難しい極端な対策方法を並べた内容などもあり、見極めることさえストレスになっています。詳しい事故内容は違っているとしても、大量の放射能で広い大地が汚染された双方の事故を比較することは一番当たり前な事ですが、なかなか認められていないのが現状です。しかしながらやはり、素直に双方を比較することで今後について真剣に見極め考えていくことが普通で、一番大切な事だと思います。

この度の学習会に参加して、いろいろな情報が飛び交う中、実際に真実か否か見極める事が出来ました。今後近いうちに地元へ戻ることになるであろう私たちに出来ることは、とにかく正しい情報を見極める事であり、過剰な不安を抱えることなく出来る限りの対策をして生活して行くことなのかなと感じました。改めて真実に目を背けることなく生活していくために、これからも沢山の情報を見極めていこうと思いました。

このような機会はぜひ今後も広げて、１人でも多くの方が真実に気付く手助けになって欲しいと思います。また、こういった出来事は年月を重ね風化していくもの。この度参加した私たちであっても同じです。定期的に開催し風化させないことはもちろん、これからわかってくるであろう真実や新しい情報を改めて勉強し考える機会をなくさないで、続けていくことが大切だと思います。

さらに今後これらの不安とともに生活するにあたり、食の安全を確保するための情報提供や、原発の距離に関係なく不安な生活を現地でされる方々への保養等の手助け、健康診断等、少しでも不安が軽減するような支援についての輪が、これからどんどん広がっていくことを心より願いたいと思います。

（金子 美奈子）

ふくしま・きずな物語　作文・エッセーの募集について

東日本大震災では多くの尊い命が失われ、また、美しい郷土が甚大な被害を受け、さらに、いまだ多くの方々が避難生活を余儀なくされる、未曾有の国難でした。

他方、このような困難な状況にあって、お互いに励まし合い、支え合った人々の姿が世界中から賞賛され､あらためて「人と人とのつながり」､「支え合う地域の絆」の大切さが認識されることとなりました。そこで、福島県と新〝うつくしま、ふくしま。〟県民運動推進会議の主催で、福島県又は福島県民と関わりのある東日本大震災を契機とした「きずな」をテーマとした作文・エッセーが募集されています。

優秀作品には賞状及び副賞（図書カード５千円～３万円）が贈呈されます。

詳細は、以下の応募先にお尋ねいただき、奮ってご応募いただくようご案内申し上げます。

応募先･問い合わせ先 ： 新〝うつくしま､ふくしま。〟県民運動推進会議　事務局(福島県文化振興課内)
〒960-8670　福島県福島市杉妻町２番 16 号
TEL ： 024-521-7179
FAX ： 024-521-5677

第４回 子育てつどいの広場 in 瑞穂区

日 時：６月 24 日（日）10:30 ～ 14:00
場 所：ボラみみより情報ステーション
主 催：NPO 法人 ボラみみより情報局
避難者参加者数：８世帯
（大人 10 名、こども 10 名）

今回も ０～３歳児とそのご家族の方々対象のイベントを開催させていただきましたが、たくさんの方に参加していただきありがとうございました。

普段からお子さん連れのお母さん達が遊びに来る屋内型の公園のような所なので、お子さんには今回も思いっきり遊んでいただきました。今回もお母さんたちの交流も十分できるよう、セルフドリンクコーナーを設けました。今回から季節柄、冷たい飲み物を用意させていただき喜んでいただきました。

こどもたちはスタッフと一緒に遊んでもらい、こどもたちと同じスペースの中でしたが、お母さんたちに情報交換していただいたり、リフレッシュしていただく事ができたと思います。なお、今回から iPad による情報提供を導入し、様々な相談にお答えさせていただきました。

また、お帰りの際は、今回も様々な企業や団体から協賛品や多くの方たちからお寄せいただいた絵本やおもちゃなどを皆さんにお土産に持って帰っていただきました。あと、必要なご家庭には後日、赤いランドセルをお届けさせていただきました。こちらは支援団体より提供していただいたものです。

提供いただいたランドセルをお届けしました

お知らせを ２つ。

1) 今回提供いただきました「赤いランドセル（新品）」ですが、まだ若干在庫があります。直接ご来所いただくか送料着払いでお渡しできます。必要な方はご連絡下さい。
2) ボラみみより情報ステーションは、火曜・日曜・祝日をのぞく、月～土曜日の 10 時～16 時に開設しています。通常、入会金が必要ですが、「あおぞら」をご持参いただければ、入会金不要です。８月 20 日まで。

詳しくは、

ボラみみより情報ステーション
boramimist@yahoo.co.jp まで
〒467-0842
愛知県名古屋市瑞穂区妙音通 2-40
横山ビル１ 階
TEL ： 080-4228-5356（10時～16 時）
FAX ： 052-811-1812
（NPO 法人 ボラみみより情報局 スタッフ）

=-= -=- =-= -=- =-= -=- =-= -=- =-= -=- =-= -=- =-= -=- =-= -=- =-= -=- =-= -=- =-= -=-

愛知県被災者支援センターニュース「あおぞら」編集ボランティアについて

前回、上記編集ボランティアを募ったところ ５名の方の参加がありました。

支援センタースタッフとその方々とで、７月 13 日（金）に第 １回編集会議を行ないました。

そこでは、「愛知県内に避難してきた人たちに対して、避難してきている人の視点で必要な情報を提供していくこと」を実現させるために、どのような紙面にするといいのかを話しました。時にまじめに、時に横道にそれつつ、みなさんからいろいろな提案や話題が提供されました。

次回編集会議は ７月 31 日（火）10:00 ～ 12:00 となります。参加してみたい方がいらっしゃれば、遠慮なくご参加ください。詳細は、あおぞら前号（第 22 号）をご欄いただくか、支援センタースタッフまでお問い合わせください。

たくさんの方のお越しをお待ちしています。

愛知県被災者支援センター
TEL ： 052-954-6722
（月～金 10:00～17:00（土・日・祝 休））

メールマガジン「みやぎ復興プレス」の配信開始について

宮城県では、東日本大震災により被災された皆様、県外に避難されている皆様、復興に関わる多くの皆様に宮城県の復興状況や被災者支援情報など、復興に関する主な情報をお届けするためのメールマガジン「みやぎ復興プレス」を 7 月 11 日から配信を開始しました。

このメールマガジンは、宮城県が（株）まぐまぐのメールマガジン発行システムを利用して月 1 回程度の頻度で無料でメールを発行するもので、どなたでもご利用が可能ですが、利用に当たっては最初に登録していただく必要があります。

また、登録・配信については無料ですが、メールを受信するためのプロバイダ料金や通信料金は各自のご負担となります。

詳細は、右の QR コードを利用いただくか、以下のホームページでご確認いただき、ご関心のある方はぜひご覧いただきますようご案内します。

「みやぎ復興プレスについて」

URL:http://www.pref.miyagi.jp/fukusui/honbu/press.htm

行っ得! ～ イベント情報 ～

親子ふれあい伊勢湾発見ツアー

親子で「海」について考え、「海」の大切さを理解していただき、フェリーによるクルージングを楽しんでください。

日　時 ： 8 月 27 日（月）11:00 ～ 15:00
集　合 ： 名古屋港ガーデンふ頭 ポートビル
名古屋市営地下鉄名港線「名古屋港」
駅下車 3 番出口 徒歩 5 分

※ 昼食は持参、もしくは船内売店で購入ください。

参加資格 ： 小学生から中学生までの子どもと一緒に参加できる方（子どものみ、大人のみの参加は不可）
募集人数 ： 30 名

応募・問合せ先
社団法人 中部海事広報協会
「伊勢湾発見ツアー」
〒455-0032
名古屋市港区入船 2- 2-14 藤洋ビル
TEL ： 052-652-4039
応募締切 ： 8 月 15 日（水）必着
（申込方法など詳細は同封のチラシをご確認ください）

豊田自動織機 チャリティーコンサート 2012

人気、実力ともに日本を代表するピアニストである仲道 郁代 氏をお迎えし、尾高 忠明 氏 指揮による名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏をお届けいたします。

日　時 ： 9 月 20 日（木）18:45 開演
（18:00 開場）
場　所 ： 愛知県芸術劇場コンサートホール
招待数 ： 先着 50 名
申込・問合せ先：
〒448-0831
刈谷市熊野町 5-14-9
ボランティア支援センター
TEL：0566-63-6525
FAX：0566-63-6526
株式会社豊田自動織機 渉外室 社会貢献Ｇ
宮脇・佐々木（担当）
申込締切 ： 8 月 20 日（月）
（申込方法など詳細は同封のチラシをご確認ください）